

教育委員会だより

第7号 (平成26年10月~11月)

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

☎ 0585-45-3111 Fax 0585-45-7116

E-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

教育委員長・教育長就任のあいさつ

教育委員長 国枝 磨須美

このたび教育委員長に選任されました。戦後長く続いた国枝磨須美でございます。戦後長く続いた教育委員会制度も来年春には大きく変わろうとしております。歴代の諸先生方が名を連ねられます中で、末席を汚すようでございますが、大任を仰せつかりその重責に身の引き締まる思いがいたします。こういう新しい時代の流れの中にあつて、池田町の教育委員会も自ら地域に開かれた教育委員会として変わろうとしております。新しい時代への橋渡しとして、微力ではございますが、精いっぱい務めさせていただきますと思ひます。

今時代は急速にグローバル化し、少子高齢化の時代を迎えております。その中で未来を生きる子どもたちには確かな学力を身につけ、豊かな心をもつて、たくましく生きぬく力が求められております。池田町の子どもたちのために、皆様の声をお聞きしながら頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。

教育長 長谷川 貴志

教育委員長として1年、教育長として2年の任期を経て、10月1日付けで教育長として再任させていただきます。この2年間で特に力を入れたことは、教育委員会の活性化を通して、学校教育における学校評価の積極的な活用、いじめ・不登校対策、魅力ある学校づくり等です。また、福祉教育及び外国語活動・外国語教育を池田町の学校教育の重点活動として位置づけ、8月初旬に事例発表会を開催してまいりました。今後は、これらの取り組みを継続発展させ、内外から高い評価をいただけるよう、「教育立町池田」として実績を積み重ねてまいります。ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

全国学力学習状況調査の結果について

結果について

1 はじめに

4月22日、全国学力・学習状況調査が実施されました。調査対象は小学6年生、中学3年生で、学力調査は国語、算数(中学校は数学)の二教科です。学習状況調査は、生活や学習習慣に関する意識を調査するものです。学校ごとの結果の分析・考察は九月中旬に学校だよりやホームページに掲載され、該当学年の保護者向けには、結果について説明文書が配布されています。児童生徒には個人票を配り、学級担任からアドバイスをしています。

町内の小中学校の結果について、町教育センターで分析・考察を行いました。また、町教育研究・学力向上委員会において、各校の学習指導部長が結果分析を持ち寄り、詳細な考察をしています。

2 調査結果の傾向・特徴

(1) 全体のおおまかな傾向

問題内容は、国語A(主として知識)、国語B(主として活用)、算数・数学A(主として知識)、算数・数学B(主として活用)の4つに大きく分けられます。学力調査の結果では、岐阜県の傾向と同じように、小学校は全国平均よりやや低く、中学校はやや高い結果です。小学校では、国語Bと算数Aが比較的高く、算数Bが比較的低い結果でした。それ以外の人数分布のグラフでは、どの学校の項目も二つの山が見られ、正答率の低い項目ほど下位の山が高くなっています。

中学校では、比較的高いのは数学Bで、比較的低いのは国語A・Bでした。人数分布では、国語B以外で三つのゆるやかな山に分かれています。

学習状況調査の結果では、こちらも全体に県と同じような傾向を示しています。学校や教科の授業に対して好意的にとらえている児童生徒が多く、よりよい自分や友達関係を望み、地域の行事にもよく参加します。

家庭での朝食、就寝時刻、学習時間の定着等は比較的良好な結果ですが、テレビやゲーム、携帯・スマホ等の時間の使い方に課題があります。

(2) 学力調査結果の特徴

国語では、漢字や言葉の意味等の基礎的な力、文章の特徴をとらえることや条件に沿ってまとめることによりものがあります。算数・数学では、計算すること、公式を使うこと等の基礎的な力や、表やグラフから情報を読み取る力が付いています。

その反面、国語で、自分の思考をまとめることや順序立てて表現することには弱さが見られます。算数・数学では、図や数直線の空間的なとらえ方や量を相対的につかむこと、複数の条件から思考する力が、十分ではありません。

(3) 学習状況調査結果の特徴

小中学生とも、朝食はよく摂っており、就寝時刻も多くが決まっています。学校に行くことを楽しみにし、地域の行事に積極的に参加し、よりよい人間関係を望む等、前向きな意識をもつ児童生徒が多いです。

学習に対しては、国語、算数・数学の授業が好きで児童生徒が多いですが、好きではないという答えが三分の一を超えます。また、たまりのある話し方や書いてまとめることに苦手意識が見られます。塾等を含めた家庭学習の時間は、比較的定着しており、宿題をよくこなしています。

しかし、テレビ・ビデオ・DVDやゲー

△に時間を費やす児童生徒が多くなっており、中には平日に四時間以上を費やす児童生徒も存在します。また、携帯・スマホ・インターネットに時間を使う児童生徒も、増加傾向を示しています。

3 今後の改善策

(1) 学校では

●基礎学力の定着のために、各校が授業において練習問題の場を位置付けたり特設の時間をもちたりしていることはたいへん有効であると考えます。活用力を高めるためには、思考や表現にポイントを置く授業展開等の研究や工夫が大切です。また、理由や根拠を明確にして書いてまとめること、順序立てて話すことを継続的に指導することが、苦手意識を小さくし確かな思考力育成のために大切であると考えます。

●正答数の人数分布では、二つ、三つの山に分かれています。特に学力が十分身に付いていない児童生徒に対して、状況に応じた丁寧な指導をしていく必要があります。

(2) 家庭では

●学習状況調査の結果では、テレビやゲーム、携帯、インターネット等に時間を費やす児童生徒が多くなっています。その結果、家族との会話が減少したり睡眠時間や学習時間が少なくなったりすることが懸念されます。有意義な時間の使い方を指導する必要があります。

●家庭学習として宿題が定着していることを大切に、一層の充実のために授業の予習・復習を取り入れる等の改善を図りたいと考えます。

いすれも、学校と家庭が共通理解をしながら、子どもの生活改善に努めることが重要です。

町教育センター主幹 坪井一弘

土曜授業の実施について
10月9日に開催された合同教育委員会にて、平成27年度から池田町の小中学校において、年2回土曜授業を導入することが決まりました。

導入の主な目的は授業時間数の確保と、確かな学力の定着です。具体的な日にちと内容については、現在、次のように予定しています。

温知小	11/5 14/23 (土) 授業参観 芸術鑑賞 引渡し訓練 (土) 授業参観 講演会
八幡小	11/21 (土) スクールフォーラム (ようこそ先輩、歌声交流会) 2/27 (土) 6年生を送る会、はりんこお別れ会
宮地小	11/16 (土) 家族参観 11/14/27 (土) 授業参観
池田小	11/16 (土) 芸術鑑賞会 11/14 (土) 教育週間
養基小	10/6 (土) 開校記念日ファミリー参観 芸術鑑賞会 10/31/20 (土) 収穫祭及び授業参観
池田中	2/5 (土) 立志式(3年生) 授業(1, 2年) 2/6 (土) 授業参観

学校訪問

温知小学校

10月10日に秋季学校訪問をいたしました。最初に、日程の概略説明を受け、授業を参観いたしました。どのクラスも活発に授業が行われており、先生方が授業づくりに一生懸命になっておられるとともに、児童の授業を受ける姿勢に感動いたしました。

参観の後、一学期の学校評価の報告を受けました。全般に、好評価で、適正、かつ、的確な評価報告をしていただき、一学期の学校経営が順調に進められてきたことを理解いたしました。

次に、全教職員の方との面談をさせていただきました。指導目標など全員の教職員の方にお話しいただき、明確な目標を持って授業づくりに取り組んでいただいていることを十分受け止めました。

最後に、会社経営は、顧客が興味を持つ商品づくりが大切なことと同様、学校経営は児童が受けたと思う授業づくりも大切ではないかという話を話させていただきました。

教育委員 小川直美

八幡小学校

八幡小学校の訪問は十月六日でした。遮音性に難があった仮設校舎では、騒々しいほどの元気の良さばかりが目立ちました。が新校舎に変わって半年余りが過ぎ、学校全体がとても落ち着いた雰囲気になりました。

また、本年度は、池田町・養基組合指定研究校として、国語科を通して「思いや考えを生かす」と伝えあう子の育成に取り組みしている最中でもあり、授業参観後の懇談会では、教職員の皆さんから、緊張感を伴った意欲がひしひしと伝わってきました。

そんな環境の中、子どもたちの様子で気が付いたことがあります。それは、授業などでの発言において、落ち着いて、言葉を選びながら、長く話せる子が徐々に増えていることです。

時には、考えがまとまりきらないままに話し始め、途中で詰まって言い直したり、先を続けられなくなったりすることもあるのですが、それでも何かを伝えたい気持ちは伝わるように、聴く側の、じつと次の言葉を待つ微笑ましい姿も印象的でした。

明るく開放的で静寂な学習環境を手に入れた八幡の子どもたちの、これからの変化が楽しみにする訪問となりました。

教育委員 野網 国昭

宮地小学校

①授業参観では全学年の授業を観望したが、どのクラスも落ち着いて、しっかりと学習に取り組みました。当校は全児童数101人で1学年1学級の小規模校ですが、その特性を活かした授業づくりと指導がなされていると感じます。

1学年17名の少人数クラスの良さは、担任の先生と児童一人一人が向き合う場を多く持つて行き届いた授業風景がみられることです。きつと子どもたちは先生を信頼し、楽しく学べていると感じました。

②先生並びに職員との懇談の場です。それぞれの課題や指導目標について一人一人にプレゼンテーションをしていただきました。

授業づくりについては勿論のこと、生活面の指導についても、常に気配りをしていただいていることを知っておりありがたいと思いたしました。短時間ではありましたが、教育委員と先生方全員と面と向かっての話を聞くことができました。先生方全員と面と向かっての話を聞くことができました。先生方全員と面と向かっての話を聞くことができました。

③校長先生他管理職の方々との懇談では、「全校児童を自分が担任しているという気持ちを持って」という先生の言葉を聞いて印象に残りました。小規模校ならこそ可能な実践的なポリシーを掲げていただけていると思えます。1学期末学校評価では、確かな力、豊かな心、健やかな体の分野について進捗度を報告いただきましたが、どの分野もバランスよく推進しており、心強く思いました。

教育委員 野原正

池田小学校

「こんにちは！子どもたちの元気な声に迎えられる学校訪問では、先生方の行き届いた

ご指導や学校評価に対しての真摯な取組を伺うことができました。

池田小学校は今から35年前に開校しました。何もないところから建てた白亜の校舎。当時の皆様のご苦労が偲ばれます。また新しいオーブン教育を進める学校として、一人一人の子どもの個性を伸ばすため、教室の壁を取り払い、その空間を活用して自由に学んでいく良さを全国に先駆けて実践されました。チームティーチングや、地域の方が子どもに教育に関わる地域に開かれた学校としても、池田小学校はその成果を十分に発揮してきました。先生方は一人一人の個性に合わせた資料作りや研究のため、大変な努力をされたと思います。今そういったオーブンスペースを利用した授業は各学校でも取り入れられ、池田小学校は先駆けとしての役割を果たしました。

近年の教育の多様化と同時にこの数十年には大きな震災や温暖化による異常気象によって、環境もずいぶん変わってきました。またノロウイルスへの初期対応の必要性から、子どもたちに安心で安全な環境を整えていくことが、早急に必要になってきました。

来春には大規模な改修工事が始まります。外からではわかりませんが、中のご指導いただく先生方から学校の施設面のことや子どもたちの様子を学校訪問によってお聞きすることができたのは、大変有意義でした。

教育委員長 国枝 磨須美

養基小学校

養基組合教育委員会の学校訪問を10月7日に行いました。学校に着いた時、黙動掃除をしていた6年生が教室の中から「こんにちは」と元気な挨拶。近くにいた低学年の子たちも「こんにちは」。子どもたちの元気な挨拶に迎えられ、私の足取りも軽やかになりました。学校訪問をするたびに子どもたちから元気をもらっています。

さて、今回の学校訪問では、①一時間の授

業の流れ、②授業に取り組む子どもたちの姿、③整理整頓が、5月に訪問した時と比べどのように変容しているかという観点で臨みました。



養基小学校の授業の様子

①は、「つかむ・調べる・深める・まとめる」がどの学級や教科でも行われ、一時間の授業の流れが子供たちに定着していると実感しました。

②は、5月より仲間の話を聞く姿勢や仲間に向かって話そうとする姿が多く見られました。③は、下駄箱・ロッカー・廊下・教室等がよく整理整頓されていました。

五月の学校訪問より色々な面で子供たちの成長がみられたのは、先生方が授業づくりに創意工夫され、子供たちの教育にあたってこられた賜だと思えます。

養基組合教育委員長 窪田昇

池田中学校

9月30日(火)午後学校訪問をしました。授業参観をして気がついたことは、昨年度以上に子どもたちの真剣な学習態度でした。特に三年生の真剣に学ぶ姿が印象的でした。

今年の三年生は全国学力学習状況調査の結果も全国平均以上でした。やはり日頃の学習態度がその結果を示していると感じました。

学校への指導事項としては、外国語教育及び福祉教育を一層充実させていくようにお願いしました。外国語教育とりわけ英語スピーチを通してコミュニケーション能力を高め、福祉教育を通して豊かな心を育ていくことを池田町学校教育の重点としていきます。コミュニケーション能力と福祉の心を、これから子どもたちには是非身に付けてほしいと願っています。

笠原小学校公表会から

11月7日(金)、多治見市立笠原小学校を会場にして、外国語教育の研究公表会がありました。研究のサブテーマに「中連携」を掲げています。池田町内の小学校では特例校として外国語活動に取り組んでいます。小中の連携は課題の一つです。今回は、校長会、教育委員会、及び、外国語活動・英語委員会の先生方も加わって参観しました。

教育長 長谷川貴志



笠原中学の英語授業の様子

英語学習を楽しんでいる子どもたち、そして、研究を前向きにとらえて意欲的に指導をする先生方が印象的でした。また、小中学生と一緒に英会話をする学習形態や、教科や総合的な学習の時間と関わらせた外国語活動の学習など、池田町内の外国語・英語活動に生かしていきけると感じました。

中学三年生の公開授業では笠原中三年生が、世界の諸問題について作成した大型カードを示しながら、英語で質疑応答を交互に行っていました。

公開3の小中合同授業では、笠原小六年生がツアコンダクター、笠原中二年生がツアーリストになって、世界遺産についてカードをもとに英会話をしました。どちらの授業でも、日本人教師と外国語指導助手が協力して指導しています。

町教育センター主幹 坪井一弘

教育委員会の主な活動 10月から11月

日付	活動	備考
10月 1日	池田町教育委員会	第3会議室
10月 6日	八幡小学校 学校訪問 (学校評価報告、教職員面談)	池田町教育委員会
10月 9日	池田町・養基組合合同教育委員会 教育懇談会 池田町教育委員会	第3会議室
10月10日	温知小学校 学校訪問 (学校評価報告、教職員面談)	池田町教育委員会
10月14日	池田小学校 学校訪問 (学校評価報告、教職員面談)	池田町教育委員会
10月16日	町長との面談 27年度の計画説明・要望	池田町・養基組合教育委員会
11月 7日	研修視察 多治見市 笠原小学校	池田町・養基組合教育委員会
11月10日	池田町・養基組合合同教育委員会	第3会議室
11月11日	岐阜県市町村教育委員会研究総会	本巣市 市民文化ホール
11月12日	研究発表会	八幡小学校
11月18日	池田町教育委員会協議会	教育センター
11月27日	揖斐郡教育研究発表会	大野町総合市民センター
11月30日	池田町青少年健全育成町民大会	中央公民館 大ホール

お知らせ

- 1月1日は第20回池田町ふれあい元旦マラソンが予定されています。昨年度までは、池田町体育協会の主催で開催されてきましたが、今年度より、池田町主催の行事となりました。皆様、是非ご参加ください。
- 1月11日(日)午後2時より、池田町中央公民館にて成人式を開催します。今年度、成人になられる方は、昨年度より多い、約300名を予定しています。

編集後記

第7号の「教育委員会だより」を発行することができました。前回より、用紙のサイズを変えましたが、今回はそのことに甘えてしまい、文字ばかりの教育委員会だよりになってしまいました。基本的に、写真を随所に入れて作成した方が、皆様に読んでいただきやすいと考えますので、次号はこの反省のもと作成したいと計画しています。

今後とも、より読みやすい紙面づくりに努めてまいります。よろしく、お願いいたします。

編集担当 國枝 磨須美、小川 直美